

《巻頭言》

科学分析支援センターへの期待

研究機構長 佐藤 勇一

人材育成，研究力の強化・研究の推進は埼玉大学の果たすべき大きな役割になっております。近年はさらに，産官学連携をはじめとする地域社会との様々な連携も大学が取り組むべき重要な課題です。従来からイノベーションセンターは企業などとの産学官連携のインターフェイス拠点として長い間活動し，地域社会との連携の実を挙げてきております。さらに，昨年度4月に先端産業国際ラボラトリーが設置され，産学官金連携した研究開発の拠点として活動を開始し，シンポジウム，セミナーなどを開催して地域社会とのより強い連携に向け様々な取り組みを行ってきております。

地域社会との連携，研究力強化，研究推進に関して，科学分析支援センターの果たすべき役割が大きいことは言うまでもありません。科学分析支援センターは学内の特に，理工系の学部，理工学研究科の教育および研究を行う際に大きなご支援を頂いてきております。また，地域創生に大学として寄与するためには，地域社会の企業，他大学，研究機関の期待に応えることが出来るように様々な活動を進める必要があると考えております。これらの活動の中には，科学分析支援センターが担っている重要な活動として地域社会の企業あるいは大学からの依頼分析があります。したがって，科学分析支援センターの活動を今後も継続的に維持発展して頂くことは，大学の将来にとって重要です。

科学分析支援センター長，センター教職員の皆様のごこれまでのご尽力に感謝申し上げますとともに，埼玉大学の置かれた状況の御理解と，更なる御支援を賜りたいと考えております。最後に，センター創立以来科学分析支援センターの運営に関係してこられた教職員の皆様の，ご尽力に感謝し，引き続き一層の御力添えをお願い申し上げます。